

令和7年度

南紀熊野ジオパーク探偵団の参加者募集

南紀熊野ジオパーク探偵団ってなんだろう？

<目的> 南紀熊野ジオパークをフィールドとした「探究活動」を通じて得る新たな気づきをもとに、「think locally, act globally」（地域で考え、地球規模で行動）の視点に立って、地元にある社会的な課題の解決と未来に向けて考える人材を育てていきます。

<対象> 自然や環境に関心がある中学生、高校生

<活動> 参加者は専門家の指導のもと「**海洋環境を考える**」、「**紀伊半島の森林の生態系を考える**」の2つのテーマに基づいて調査活動を行います。調査活動の前後には学習を行い、異なる学校の参加者同士で問題点を共有し、意見を出し合い、疑問点などを話し合います。これらの活動が終わった後、希望者は専門家の助言を受けながら、探究活動を行い、その結果を発表します。

<流れ> 事前学習 → 調査活動 → 事後学習 → 希望者は探究活動 及び 発表



活動は発表まで全部参加しないといけないですか？

調査活動と事前・事後の学習は、原則セットで参加してね。
応用編の「探究活動」は、頑張ってチャレンジしてみよう！



■参加申込は担当の先生に5月19日(月)までに相談のうえ、お申し込みください。

担当の先生は、取りまとめのうえ、下記までお申込みをお願いします。

学校通信欄

主催：南紀熊野ジオパーク推進協議会

〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 2838-3

和歌山県立南紀熊野ジオパークセンター内

TEL : 0735-67-7100 FAX : 0735-67-7191

Mail : e1004021@pref.wakayama.lg.jp



南紀熊野ジオパーク公式HP

公式 Facebook

公式 Instagram



昨年度の現地調査活動を紹介します



～海洋環境を考える～

- ・白浜町の志原海岸と新宮市の三輪崎海岸にて、1時間程度、海ごみの調査活動を行いました。採取した海ごみを記録用紙（写真1）に記載しました（写真2）。最後にごみを種類（燃えるごみ、プラスチック、ペットボトル・缶・瓶など）ごとに重量計測（写真3）し、調査活動の感想や意見、疑問点を出し合い、専門家からアドバイスを受けました（写真4）。

写真1 記録用紙



写真2 ごみの回収作業



写真3 計測作業



写真4 発表の様子

ちなみに、事後学習ではこんな活動をしました！

現地調査で採取したペットボトルキャップを使用し、和歌山大学でアップサイクル実験を行いました。また、花王株式会社のエコラボミュージアムでは環境学習を行いました。



～紀伊半島の森林の生態系を考える～

- ・古座川町の北海道大学和歌山研究林にて、専門家の指導のもとに終日、活動を行いました。午前中は、研究林内を歩きながら、土砂崩れ現場の観察や動植物の観察を行いました。また、午後からは天然林と人工林に入り、それぞれの違いを観察するとともに、植物の種類を学んだり、川に住む生物の調査を行いました。



活動に参加して疑問に思ったことから幅広く
「探究活動」を行うことが可能です。ぜひ挑戦してみてくださいね！！



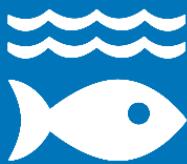
「海洋環境を考える」活動計画



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

14

海の豊かさを
守ろう



「持続可能な開発目標（SDGs）」のひとつである「豊かな海を守ろう」は、世界の海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用することを目標としています。

また、海洋に関する目標の達成のため、国連により 2021 年～2030 年の 10 年間を「持続可能な開発のための国連海洋科学の 10 年」とすることが宣言されました。

「海洋環境を考える」をテーマに、海洋ごみ調査を通じて世界につながる海の環境を探究する活動を行います。

◆活動日程等

日程	内容	
6月 4日（水） 放課後	事前学習 (オンライン)	本年度の活動概要と問題意識を共有します。
6月 14日（土） 14:30～16:30	現地調査活動①	白浜町の志原海岸にて、海洋ごみ調査を行います。 (定員 30 名程度) 予備日：7月 12 日（土）
6月 15日（日） 10:00～12:00	現地調査活動②	新宮市の三輪崎海岸にて、海洋ごみ調査を行います。 (定員 30 名程度) 予備日：7月 13 日（日）
7月 9日（水） 放課後	事後学習① (オンライン)	調査結果の報告と課題の共有、意見交換をします。
8月 19日（火） 10:00～16:00	事後学習② (対面)	プラスチックとの付き合い方について考えます。現地活動で収集した海洋プラスチックごみを用いた実験も予定しています。
夏休み以降随時	探究活動	専門家の助言を受けながら、更に調査・分析・考察を進めます（希望者）。
令和8年 2月頃（予定）	活動発表会	探究活動の成果を発表し、専門家の評価を受けることで、新たな気づきを得ます。

※予備日での現地調査活動実施の場合は、事後学習①の日程を再調整します。

国連では 6 月 5 日世界環境デー、6 月 8 日世界海洋デーとして定めており、この日の前後に事前学習や現地調査活動を行う予定です。



「紀伊半島の森林の生態系を考える」の活動計画



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

15 陸の豊かさも 守ろう



森林は、二酸化炭素を吸収したり、多様な動植物を育むなど私たちに様々な恩恵をもたらしています。しかし、世界では、1000万ヘクタール（北海道面積の約1.2倍に相当）の森林が毎年破壊され、約4万種が今後数十年で絶滅の危機に瀕すると報告されています*。

一方、江戸時代に紀州藩では、「留山」という制度を定め、森林資源の保護や土砂災害の防止が必要な場所での樹木の伐採などを禁じていました。現代でも、和歌山県では、先人の知恵にならい、貴重な自然生態系を支える森林を「新紀州御留林（しんきしゅうおとめりん）」として公有林化し永続的に保護しています。

本テーマでは、南紀の里山と奥山に足を運び、この地域の森林現状を知るとともに、森林生態系に住む生き物の調査方法についても学び、その特徴や機能について考察します。

◆活動日程等

日程	内容	
9月17日（水） 15:40～17:40	事前学習 (オンライン)	本年度の活動概要と問題意識を共有します。
9月20日（土） 9:00～16:00	現地調査活動	古座川町の北海道大学和歌山研究林にて、天然林を構成する樹木の特徴を学んだ後、動植物の観察を行います。 (定員30名程度) 予備日：9月21日（日）
9月下旬	事後学習 (オンライン)	調査結果の報告と課題の共有、意見交換をします。
活動後隨時	探究活動	専門家の助言を受けながら、更に調査・分析・考察を進めます (希望者)。
令和8年 2月頃（予定）	活動発表会	探究活動の成果を発表し、専門家の評価を受けることで、新たな気づきを得ます。

※なお、締切日までに定員を満たしていない場合、継続して募集する予定です。